

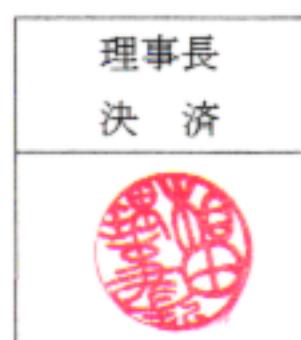
学校法人相愛学園
理事長 相田芳久 殿

令和6年度

自己点検・評価 報告書

令和7年2月14日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園
園長 佐野正子



令和6年度の園運営についての自己評価を実施しましたので、以下にまとめたものを報告書として提出いたします。

今年度も園内研修テーマ『主体的な子ども姿を目指して』を継続していくことで、様々な活動や遊び、生活の中から主体的な子どもの姿を見つけ育てていくことを主として取り組んでまいりました。

また、令和5年度に取り組んだ、全日本私立幼稚園児教育機構主催の「ECEQ 研修」で学んだことを基軸に、子どもの育ちと照らし合わせながら、行事も含めた教育活動や環境構成の工夫・改善にも努めてまいりました。

特に縦割り活動を計画的に行ったことで、例年より異年齢での関わりが増え、遊びの広がりを目にする場面も見られるようになりました。子どもだけでなく教職員においても他学年とかかわることでの園内コミュニケーションの広がりも成果の一つであると感じます。

子ども達にとって意味のある生活ができるよう考え方を取り組んできたことは、多くの収穫を得ることができたのではないかと考えております。昨年度「ECEQ 研修」という貴重な経験を積んだことが、担任はもとより級外職員においても自信や意欲、努力する姿…等、今年度に繋がっていることを感じています。

具体的な自己評価においては、項目ごと各自で振り返りを行ったものをまとめました。今年度の学びを次年度につなげて行けるよう、今後も園や自身の良さを伸ばしていくこと、課題克服に向けて真摯に取り組みを進めることを求めてまいりたいと考えます。

以下、園長による自己評価、教職員による自己評価等について、自己点検・評価結果の報告として報告します。

令和7年2月14日

令和6年度 自己評価書

—焼津豊田幼稚園—

評価分類		内 容	チェック
I 教育内容	1 保育の計画	○建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化する	○
		○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する	○
		○社会状況や児童の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う	○
		○児童の生活が豊かになるように行事を精選し、児童の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う	○
	2 教職員体制の充実	○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う	○
		○指導計画が教育要領、教育課程、児童の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる	○
		○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する	○
	3 指導の在り方	○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する	○
		○児童の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、児童が主体的に活動できる環境を構成する	◎
		○児童とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える	○
		○児童一人ひとりの発達の特性に応じた指導を、家庭や関係機関と連携しながら行う。	○
		○教職員全員で一人ひとりの児童を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う	○
		○遊びを通しての総合的な指導を行う	○
		○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る	○
II 地域の児童教育センターとしての役割	4 研修や研究	○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う	◎
		○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する	○
		○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる	○
	1 子育ての支援	○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する	▲
		○さまざまな教育に関する相談を受け入れる	○
III 安全管理	2 預かり保育	○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える	○
		○預かり保育を担当する教師の体制を整える	○
	1 外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える	○

		○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	<input type="radio"/>
	2 施設・設備・園児に対する安全対策	○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める	<input type="radio"/>
		○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する	<input type="radio"/>
		○防火管理者を定めて防火管理を行う	<input type="radio"/>
		○設備や遊具の点検を定期的に行う	<input type="radio"/>
	3 衛生管理	○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める	<input type="radio"/>
		○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する	<input type="radio"/>
		○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する	<input type="radio"/>
		○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する	<input type="radio"/>
		○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く	<input type="radio"/>
IV 人事管理	1 園の教育目標達成のための人事	○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う	<input type="radio"/>
		○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める	<input type="radio"/>
	2 教職員の雇用条件	○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する	<input type="radio"/>
		○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める	<input type="radio"/>
V 財務管理	3 就業規則に基づく労務管理	○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る	<input type="radio"/>
	4 教職員の健康管理	○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する	<input type="radio"/>
	1 予算作成及び予算管理	○学校法人会計基準に基づき、予算書を作成する	<input type="radio"/>
		○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る	<input type="radio"/>
VI 評価と情報の公開	2 決算	○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する	<input type="radio"/>
		○決算は公認会計士の監査を受け、適正であるとの証明をつけて監督官庁に届け出る	<input type="radio"/>
	3 納付金算定	○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりと、外部に説明できるようにする	<input type="radio"/>
	4 物品購入	○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する	<input type="radio"/>
	1 評価	○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う	<input type="radio"/>
		○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめる	<input type="radio"/>
		○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う	<input type="radio"/>
	2 情報の公開	○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する	<input type="radio"/>
		○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする	<input type="radio"/>
		○自己評価の結果を公表する	<input type="radio"/>
		○学校関係者評価の結果を公表する	<input type="radio"/>
		○幼稚園児指導要録の写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る	<input type="radio"/>

— 令和6年度 教職員の自己評価内容について —

本年度も年度末に園内において教職員対象の自己評価を実施した。あらかじめ設定した評価項目にしたがっての振り返りを行なった。その中で、個々の課題の掘り起こしにつなげ、評価・改善策を考えることとした。今年度、担任は3項目について自己の保育を振り返り記述したものを、級外職員も3項目について級外としての立場からの振り返り記述したものをまとめた。以下の通りである。

<クラス担任としての自己評価>

1. 継続研修テーマ『主体的な子どもの姿を目指して』
 - ① 自らの保育計画・実践について
2. 今年度新たに取り組んだこと（3Sアクションプランより）
 - ① 他学年との交流の取り組みについて
 - ② 行事の見直しについて

以下、複数の教職員よりあげられた次年度への自己評価についてまとめてみた。

1. 継続研修テーマ『主体的な子どもの姿を目指して』

① 自らの保育計画・実践について

(成果)

- ・入園時期は異なるものの生活習慣や生活の流れのおさえ等、大切なことは毎年同じようにきちんと伝えるようにしている。小さい年齢ではあるが、互いに影響し合って日々成長している。（満3歳児）
- ・これまでの園内研修や昨年のECEQ研修や公開保育で学んだことを生かして保育を進めることができた。
- ・自分の考えた計画と異なることもあったが、“子ども達が楽しく園生活を送る”ということを意識し柔軟に保育計画を変えていくことができた。
- ・子ども達と過ごしていく中で、どのように育つていってほしいかを考えながら日々過ごしていくことができた。
- ・昨年の研修で、保育のつながりの大切さや子ども達の思いを受け取りながら計画していくことの大切さを学んだので、そのことを意識しながら保育をするよう心掛けた。
- ・保育を進めていく中で、子どもと一緒に考えたり、「〇〇をしたい」という気持ちを取り入

れた保育を心掛けていくことができた。

- ・先を見通して、今子ども達にどんな経験が必要であるか考え、保育を計画し実践していくことが昨年よりできたように思う。
- ・早めに計画していったものは、ゆとりをもって実践できた。ゆとりがあったことで、子ども達の意見を取り入れることも増えた。
- ・見通しをもって準備をしたり、保育者自身も楽しみながら保育をするように心掛けることができた。
- ・ゆとりをもって子どもと関わったり、行事に関わることができた。

(課題)

- ・新しいことや子どもに合った活動を考えていく大切さを感じている。今後も教材研究等をきちんと行い、自分自身を高めていきたい。
- ・実践していく中で、個別指導をしている時の全体の子どもへの対応・声掛け、また個人差を踏まえた取り組み方等が課題として残った。
- ・実践の中で、子ども達の主体的な姿を引き出しながら保育をする力が不足していると思うので、そのような姿が引き出せるように保育を考えていきたい。
- ・子どもの姿に合わせて対応していくことをもっと意識していかなければならないし、保育者がゆとりをもって保育をしていきたい。
- ・思いの表出は個人差があるので、全員の思いを引き出せるような環境つくりや声掛けを心掛けていきたい。
- ・自分自身、計画性の面で苦手意識があるので、ゆとりをもっていけるよう努力をしたい。
- ・自由遊びの中で、子ども達の様子に合わせて環境を変えた部分はあるが工夫が足りず、遊びが継続や発展していかないこともあった為、より工夫や援助が必要だったと感じる。
- ・大きな行事になると保育者主導になることが多いので、もっと子どもの姿に沿った内容や到達度を目指したい。
- ・子ども主体の保育であったり、子どもの気持ちに寄り添った保育の中での援助等をより一層勉強していく努力をする。
- ・行事はいろいろな経験ができる子ども達にとっては良いことが多いが、体力的なことを考えるともう少し余裕が必要だと思う。

2. 今年度新たに取り組んだこと（3Sアクションプランより）

① 他学年との交流の取り組みについて

(成果)

- ・年少フロアに満3歳児保育室があることで、年少クラスの様子を見たり、関わりを持つことができ相乗効果も見られた。（朝の自由遊び時に、満3歳児の保育室に年少児がかわるがわる遊びに来てくれお世話をしてくれた。）
- ・例年、少+長のペアで着替えの手伝いが着替えのみで終わりがちだったが、縦割り活動の

時間を組み入れたことでより親しみをもって遊ぶようになった。

- ・最初は戸惑っている様子も見られたが、回数を重ねていくと他学年から刺激を受け意欲的な姿が見られるようになった。
- ・上の学年にお世話をしてもらうだけでなく、下の学年の子のお世話をするという経験もでき子ども達の育ちの中に刺激になった。
- ・縦割り活動の中で、子どもの変化や普段と違う一面を見ることができた。
- ・年中は他学年と交流がうまく作れないでいたが、縦割り活動を取り入れていったことで様々な学びがあったと思う。
- ・異年齢が関わる中で、異年齢ならではの育ち合う姿をたくさん見ることができた。
- ・縦割り活動を通して、目線を合わせて会話したり優しく声をかけたり、年長児なりに年中と年少では関わり方を考えながら接している姿に今までの経験が生かされていることの成長を感じる。

(課題)

- ・自分から積極的に変えをかけられるグループとそうでないグループの盛り上がりに差が生じてしまう。保育者が仲介する等きっかけを作つてあげることが必要となる。
- ・異年齢で楽しめることはどんなことなのかを考える時にアイディアが少なかったように思う。もう少し考えを柔らかく持ち計画できたら良かった。
- ・今は意図的に時間を作っているので、この活動を継続していくのであれば普段の生活の中で気軽にやって機会もできるとよいなと思う。
- ・取り組みづらい時期もあった。先を見通して、難しい時は時期をずらして取り組んでいっても良かった。
- ・縦割り活動を取り入れたことで例年より交流が増えていった。子ども達だけでなく保育者同士も交流を意識できた。
- ・月1回と決めたことでそれが終わればおわりになってしまいがち。もっと気軽に来ればよいのだが。
- ・内容、報告書、報告会が大変になった。
- ・報告会では、報告だけでなく今後の活動の方向性等、もう1歩踏み込んだ話し合いができると次に繋がっていくのではないかと感じる。
- ・時間を見つけて異年齢児との関わり活動を継続していきたい。

② 行事の見直しについて

(成果)

- ・内容を少しずつ見直して取り組んで行くようにしたことで、子ども達への負担は減ってきたと思う。
- ・様々な行事を細かく見直し、今の子ども達に適していると思われるねらいや内容にしていったことで子ども達に無理なく様々な経験をさせてあげられたように思う。
- ・新しくも見直されたことは、子どもの姿から見ても良かったと感じられた。
- ・造形の取り組み（貼り絵の時期）も見直して良かった。時間の使い方が変わった。

そこから生まれる時間で、他のことに時間を使えたり、保育者の気持ちにゆとりも出たよう^トに思う。時間や気持ちのゆとりの使い方をこれからも有効に使っていけるよう考えて^トきたい。

- ・今の子ども達にとって何が最善か考えながら行事に取り組むことができた。

(課題)

- ・前年度末に行事の日程を決めたが、実際に始まってみると行事が詰まっていたり延期になつてしまったりと変更も出てきて難しさを感じる。
- ・子どもの個人差が大きくなっていることを含め、どの行事に対しても柔軟な考え方を持ち工夫していくことが大事だと感じる。
- ・子ども達の為には行事の取り組み方や内容の見直しの大切さを感じるが、理想と現実の間には差異があり悩むことも多い。
- ・行事の見直しにあたり、全体で話し合いをする時間や機会がもう少し増えると少→中→長のバランスの良いことのすがたに合わせて見直しができるのではないか。(学年間の見直しの程度の差を確認する機会として)
- ・3学期に、劇遊び参観・懇談会・自由参観(十年少は給食参観)と保護者の方に園に出向いていただく機会が多くなってしまったので、少し工夫していきたい。

<級外職員としての自己評価>

① 級外としての職務について

- ・担任がスムーズに保育ができるよう同じ方向を向いて保育に関わるようにしている。
- ・担任のSOSにすぐ対応できるよう気を配っている。
- ・担任との「報告・連絡・相談」は日々意識している。
- ・朝の受け入れでは、温かく元気に迎え視診を心掛けた。

② 主体的な子どもの姿という点から自身の関わりや援助について

- ・子ども達が自分で考えて動けるような言葉かけと援助をしていきたい。
- ・子どもがやる気が出る、気分が上がる、褒める等、言葉かけの工夫するようにしている。
- ・喜びを共有し子どもの自信に繋がっていくよう配慮している。
- ・「〇〇して～」というような指示語はなるべく減らすよう心掛けた。

③ 危機管理・安全管理という点から自身の関わりについて

- ・外遊びの時は広い視野で子ども達の様子をよく見るよう心掛ける。
- ・普段から園内の危険な場所のチェックをしている。
- ・ヒヤリハットの定着と日々の保育に生かせる方法を考えていく。
- ・怪我をした時に、どんな状況で怪我をしたのか子どもが説明できないこともあるので、

遊びの様子は注意して見るよう努めている。

- ・大きな怪我や事故にならないよう、安全な環境を整えるように心掛けたい。
- ・危機管理マニュアルをしっかりと理解するよう心掛けたい。

全体的な分析

令和4年度より、「主体的な子どもの姿を目指して…」というテーマで研修を深めてきた。自園独自の研修なので一進一退ではあるものの、少しづつ保育に動きが出てきた。

令和5年度には、焼私幼公開保育研修、ECEQ研修を経験し、多くのことを学んできた。研修を積んでいくにしたがって、各自が保育に対して真摯に合い努力を積んだ一年であり、それぞれに子ども達の成長を願い、取り組んでいくことの大切さを感じ取ることができていたように思う。

令和6年度は、園や子ども達の良さや大切にしたいところを土台にして、課題として挙がっていた点を中心に話し合いを深めてきた。今の子ども達のどこから改善すべきか、すべてを一度に改善はできないが、できるところから改善をしていこうと意識統一を図った。園内研修を積み重ねきたことで見えてきた次へのステップに進むためについての学び合い、園の良さや課題についての研究を深めると共に、同僚性も育んでいきたい。

また、級外教職員も子ども一人一人の育ちへの援助、若い年代への励まし、保護者との信頼関係の構築、等…それぞれの経験を活かし多方面で良きサポーターとして心強い存在となっている。級外職員は勤務時間帯も異なるため、全体での話し合いにはなかなか参加できないが、これからも連携を取りながら進めていきたいと思う。

子ども達にとって主体的に活動できる物的・人的環境を整えながら、落ち着いた園生活が送れるようこれからも進めてていきたい。それをもとに少しづつ保育の質が向上していくよう努力していきたい。

○学校保健の柱

- ①園児の健やかな生活を守るため、保健に関する学習機会を推進し、自主的な健康生活の基礎を培う。
- ②健康診断を実施し、疾病異常の早期発見と早期治療を促すとともに、保護者との相談活動に努める。
- ③JRC（青少年赤十字）活動の精神に基づき、保育室内外の環境美化を推進する。
- ④保護者を含めて、家庭ぐるみでの食育教育・環境教育の推進を図る。

○学校安全の柱

- ①学校施設器具の定期安全点検を実施する。
- ②園児、教職員、家庭それぞれの防災意識を高め、同時に火災・震災に備えての園内定期訓練を実施する。
- ③保育時間中の園施設内の巡回・監督についての分担表を整備し、担当者による監督・指導を徹底する。
- ④園外活動時の事前現地調査（下見）ならびに当日運営にあたっての監督者数、父親代表者の同行に配慮し、安全な事業実施を図る。
- ⑤交通教育の徹底を図り、事故防止に努めるとともに、保護者、教職員の交通道徳向上に向けての啓蒙活動を行う。
- ⑥正門、通用門、裏門の施錠・開錠管理を徹底し、不審者の侵入を防ぐとともに、定時園内巡回や防犯カメラ管理によって安全確認を進める。

以上の柱に基づき、別紙のような年間計画を作成し、その実施に努める。

令和6年度 学校保健安全計画

焼津豊田幼稚園

☆第1学期

	4月	5月	6月	7・8月
園行事等 学年行事等	8 始業式	個人面談	1 わんぱくホリデー	1-2 年中自由参観
	10 入園式	母の日の会	6 年少がんばりハイク	19 終業式
	12 年少懇談会	15 内科検診①	15 家族参観日	23 終業式
	27 保護者会総会	16 年中がんばりハイク	19-20 年長自由参観	23 ハッピーナイト
	個人面談	17 年長がんばりハイク		8/5 入園説明会
		21 年長親子遠足		23 同窓会
		22 内科検診②		26-30 夏季保育
				30 防災訓練
保健管理	心身の管理	身体測定	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理
		内科検診	健康診断事後措置	感染症罹患率調査
		健康診断未受診者再検診	健康診断未受診者再検診	
			応急処置記録整理	
	環境管理	施設点検	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
		園外活動中の教急準備	園外活動中の教急準備	園外活動中の教急準備
保健教育	安全管理	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		施設内所定場所の撮影	園外活動中の教護活動	園外活動中の教護活動
			施設内所定場所の撮影	プール活動中の教護活動
		防災・避難訓練	施設内所定場所の撮影	施設内所定場所の撮影
			防災・避難訓練	防災・避難訓練
	保健指導	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
		基本的習慣・態度	手洗い・うがい	虫歯と歯磨きについて
		健康診断の意義	心身の健康について	環境衛生について
				夏季休業中の健康管理
				歯磨き指導(年長)
環境その他の啓蒙活動	安全指導		園内での事故防止	園内での事故防止
			園外活動中の安全	園外活動中の安全
				夏季休業中の安全管理
	環境その他の啓蒙活動	応急処置	応急処置	応急処置
		健康相談活動	健康相談活動	健康相談活動
		健康観察	健康観察	健康観察
				夏季研修

☆第2学期

	9月	10月	11月	12月
学年行事等	2 始業式	19 作品展	1 年少がんばりハイク	14 音楽祭
	14 ふれあいの日	24 年長自由参観	7 年少がんばりハイク	20 終業式
	年長視力検査	31 年長がんばりハイク	8 チャイルドチャレンジ大会	
			17 創立記念日	
保健管理	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
	応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理
	治療勧告書整理	治療勧告書整理		感染症罹患率調査
	年長視力検査			
安全管理	施設点検	施設点検	施設点検	施設点検
	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
	園外活動中の救急準備	園外活動中の救急準備		音楽祭の救急準備体制
保健指導	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
	防災点検	園外活動中の教護活動	防災・避難訓練	防災・避難訓練
	緊急時管理体制の見直し	防災・避難訓練		
	防災・避難・引連し訓練			
保健教育	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
	けがの処置と予防について	就学時検診事前指導	規則正しい生活・睡眠	冬に多いやけどについて
	生活習慣の見直し	目の大切さについて	風邪の予防対策	冬季休業中の健康管理
		栄養バランスと健康管理	うがい・手洗いについて	冬に負けない体力づくり
			衣服の調節・工夫について	
環境その他の啓蒙活動	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止
	園外活動中の安全	園外活動中の安全	園外活動中の安全	

★第3学期

	1月	2月	3月
国学年行事等	7 始業式	15 一日体験入園	4 年中お別れ遠足
	中旬 マラソンごっこ	27 年長お別れ遠足	5 年少お別れ遠足
	16-17 年中自由参観	劇参観	19 終業式
	年中視力検査		20 卒園式
	年少視力検査		
保健管理	心身の管理	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理
		次年度健康診断立案	次年度健康診断立案
		病欠調査	病欠調査
		年中視力検査	公簿整理
			病欠調査
	環境管理	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
		園外活動中の教護準備	
保健教育	保健指導	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		防災・避難訓練	園外活動中の教護活動
			園外活動中の教護活動
		防災・避難訓練	防災・避難訓練
	安全指導	保健だより発行	保健だより発行
		冬季休業後の健康管理	換気の重要性について
		インフルエンザ予防対策	寒さに負けない体力づくり
		手洗い・うがいの見直し	耳について
			春季休業中の健康管理
	環境その他の啓蒙活動	園内での事故防止	園内での事故防止
			園外活動中の安全
			春季休業中の安全指導

【 園内施設（建物・構築物関係）の保全状況】

1. 園庭緑化関係事業

➡園庭の芝関係の事業として、時期に合わせて肥料を散布、冬芝の種まきなどを実施した。

2. 総合遊具脱落ネット取り換え

3. 総合遊具衝撃吸収クッション材補修

4. 総合遊具チューブトンネル一部取り換え工事

5. 北棟屋根材一部取り換え工事

6. プール用品倉庫ドア取り換え工事

7. ビオトープ池の配管修繕

8. トイレ他、水回り修繕

【 園内遊具の保全状況について】

1. 業者による遊具一斉点検（2/17） ➡ 結果報告待ち

※月1回職員による一覧表に沿って目視点検を行っている。不良部分があった場合は報告し、素早く対応できるようにしている。

一年度末アンケート調査にご協力ください

設問1 お子様の学年は? 1. 満3歳児 2. 年少 3. 年中 4. 年長
(お子様が2人の場合は2学年に○印をお願いします。)

設問2 一年間のお子様の様子をどのように感じておられますか?

1. 成長に満足している 2. ある程度嬉しく感じる 3. 特別な実感はない

☆それはどんな場面で感じておられますか?

設問3 一年間で印象に残ったお子様の表れがありましたか?

1. ある 2. 特にない

☆「ある」とお答えになった方にお尋ねします。それはどんなところですか?

設問4 保育内容や園行事、園生活全般にわたってご意見、ご感想をご記入ください。
(教職員への要望等でも構いません。スペースが足りない場合は裏面にご記入ください。)

締め切り2月10日(月)

ご協力、まことにありがとうございました。

令和6度 保護者アンケート実施結果についての考察

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

保護者の皆様にご協力いただいたアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。
今年度は自由記述の中心にアンケートを取らせていただきました。

<設問2>

一年間のお子様の様子をどのように感じておられますか

A 成長に満足している

B ある程度満足している

C 特別な実感はない

A 89%

B 11%

○自由記述では…

満3：*様々な季節行事を通して、興味関心が広がっていくのを感じた。家では経験できないこともあります、ありがたいと思う。

*初めての集団生活の中で園生活を楽しんでいる様子が見られる。

*園の様子や友達のことを話してくれるようになった。

年少：*友達との関わりの中で、できることも練習してできるようになろうとする姿が見られたこと。

*基本的な生活習慣身についてきたことや自分のことは自分でやろうとする姿が見られるようになった。

年中：*家では何度も練習しても飛べなかった縄跳び、幼稚園で頑張って練習し飛べるようになって、年少の時よりすごく成長したと思う。

*集団生活のマナーと礼儀が身についたこと。

*友達関係が広がりよく遊ぶようになった。

*何事にも意欲的になった。

年長：*がんばりハイクや音楽祭、作品展など、様々な行事に向かって成功させたいという気持ちを持って、意欲的に練習に取り組んでいる姿に成長を感じる。

*幼稚園から帰るとたくさんの話をしてくれ、お話しも少しずつ表現が上手なった。

*相手の話をしっかりと聞く、自分の思いや状況を順序立てて相手に伝える等、言葉の成長を感じる。

*小さい子にやさしく接することができるようになった。

…等

<設問3>

一年間で印象に残ったお子様の表れがありましたか

A 成長に満足している

B 特にない

A 88%

B 12%

○自由記述では…

満3：*初めての音楽祭。大舞台でたくさん的人がいる中、堂々と歌って踊っている姿を見て感動した。

*一つ一つの行事を経験したことが成長につながっている。

年少：*先生や友達と共に感したいという思いが現れたり責任感が出たり、精神面での変化が表れたこと。

年少：＊家では経験できないことがけいけんできていること。

年中：＊音楽祭で見せてくれた表情が印象的、心から楽しんでいる様子が伝わってきた。

＊苦手なこともがんばって挑戦しようとする姿に感動。

年長：＊わんぱくホリデー前には走る練習、音楽祭前には楽器の練習、縄跳びカードの時は縄跳びを逆上がりの練習…この一年「練習」という努力をしている姿を見て感心した。…等

＜設問4＞

保育内容や園行事、園生活全般にわたってのご意見、ご感想等…

- ・自宅保育ではできないことを、園行事や園生活でたくさん経験することができ、子どもも毎日楽しく生活できていると思う。
- ・プリントが1つの行事につき多すぎてわかりにくいのでわかり易く。
- ・予定を早く知らせてくれるので助かる。欲を言えばもう少し早いともっと助かる。
- ・いろいろな家庭環境の子がいる中で、「母の日」のイベントは不要ではないか。父の日が家族参観になっているので母の日も家族参観にして誰が参加してもOKにするといいのでは？特に「おかあさんなーに」の歌が違和感を感じる。
- ・先生方の負担を減らしたらどうか。イベントの削減や土曜日のイベントの代休を設ける等。
- ・一人ひとりの子どもを見るのは大変だと思いますが良いところをもっとたくさん教えてほしい。
- ・上の子が通っているときより、保護者の車のマナーが悪くなっている。
- ・可能であれば、園での子どもの様子をもっと知りたいし見たい。
- ・大変お世話になり、感謝してもしきれません。
- ・園行事を経験していくにつれ、親からすればマイペースという短所を「慎重で丁寧な作業」と評価し頑張りを認めてくれた先生。本人の自信に繋がった。
- ・いつも安全に園生活を過ごせるのも先生方のおかげだと感謝している。
- ・なるべく手紙はペーパーレスで配信をお願いしたい。
- ・3年間の園生活で感じたことは、やはり園行事がたくさんあったので子ども達の経験値が増えたこと、とても感謝している。園内でも季節のイベントがあつたりで、刺激があってワクワク、ドキドキ、いつも楽しそうにしていた。
- ・欠席状況のお知らせは時期を問わず知らせていただけると助かる。（感染症対策も含め）
- ・園駐車場が狭いのが不便。

…等

保育については、概ねご回答をいただいた皆様から一定のご評価を頂戴できました。

しかしながら、園長を含め教職員への厳しいご意見や保護者の皆様のマナーについてなどに触れる意見もございました。ご意見を頂戴したことを真摯に受け止め頑張っていく所存でございます。

いただいたご意見をすべて掲載できず申し訳ございません。改善点は一つ一つ受け止めできることから進めてまいります。次年度に向けてよい反省材料をいただき、感謝申し上げます

令和6年度は、子ども達が主体的にのびのび遊びが展開できるようできるよう、環境（人的・物的）を整えていきたいと思っております。教職員が共通理解の下、子ども達に寄り添った保育ができるよう日々の積み重ねを大切にしながら、引き続き研鑽を積んでいきたいと考えております。

一年間のご理解とご支援、誠にありがとうございました。